

お産の日は特別だけど日常の暮らしのひとつ。普段の家族らしく過ごしてほしい。



PROFILE

秋田生まれ。秋田育ち。2000年より「とも子助産院」を開業。家庭的な雰囲気の中であったかお産を目指しています。



あたたかなお産を目指して

開業16年目。これまでに約800人の赤ちゃんが生まれ、訪れたママの数は約4000人。年間350人の助産・看護学生の臨床実習を引き受けています。家族の事情に合わせたオーダーメイドのあたたかなお産を目指しています。上のお子さんも一緒に入院ができます。また、健康で楽しい母乳育児を支援しています。

産後ケアの大切さ

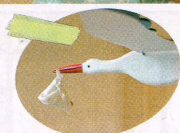
ママの産後ケアはとっても大切です。実際、産んでみて自分が想像していた産後とのギャップに驚くママが多いようです。助産院では、産後の体や心が辛い時、母乳や育児に自信がもてない時、家事サポートのない時など、デイケアや産後入院で産後ケアを行っています。乳房マッサージ、楽な授乳の仕方、赤ちゃんのあやし方のコツなど、赤ちゃんとの生活ペースが整うまでを助産師たちがサポートします。

マタニティを癒し隊

とも子助産院のスタッフが持つ、プロの手法でマタニティを癒します。リフレクソロジー・カイロ・アロマなど産前・産後の心地良いメニューが揃っています。産前・産後のおすそめケアですが、誰でも受けることができます。とも子助産院で出産する方もしない方もOK。

ママたちのふれあいの場

どなたでも参加できるサークルを開催し、(ベビーマッサージ、ヨガ、合唱など)ママ同士のふれあいの場を提供しています。気の合う仲間が1人2人いるだけで安心できるものですよね。ちょっとした悩み事や生活の知恵を共有できる存在は大切です。信頼できる仲間と出逢って欲しいと願っています。



伊藤朋子さんの活動紹介

- 助産師
- とも子助産院 院長
- 宮城県助産師会 理事
- 新生児蘇生インストラクター
- 看護・助産系大学等の非常勤講師
- 毛糸のおっぱいプロジェクト事務局

水害による多くのご支援に感謝

9月11日の大雨により助産院のある泉区野村地域は床上浸水の被害に遭いました。増築したばかりの1階のカフェスペース、カルテやパソコン、書類等を保管していた事務所が泥まみれになりました。幸いママと赤ちゃんは2階で難を逃れましたが、増築のお披露目会からたった1カ月後の出来事にスタッフ一同ガッカリしていました。でも、多くのママや子ども達、関係者の方々から手伝いに来て下さり、竹串や歯ブラシで床を丁寧に磨く姿もありました。多くのご支援に感謝しています。水害からの復活祭として、お産の写真展とプロカメラマンによる撮影会等を計画。※日時未定(年内予定)

子育て中のパパ・ママへのメッセージ

ヒトの赤ちゃんはカワイイけど、大変ですね。ヒトの子は、ママ一人では育ちません。もともとヒトは群れで子育てする種類の動物だから。お返しができない、借りをつくりたくない、同年代としか話せない。と遠慮しているうちに、しんどくなってしまうママたちによく出会います。ちょっとした相談ができるリアルな知り合いを作りましょう。何時でもネット検索するより、簡単に解決できることも。ちょっとした勇気で心が軽くなりますよ。メールより電話、電話より対面。赤ちゃんには人をふわっと幸せにするパワーがあります。子どもも好き、世話好きのおばちゃんにとって、赤ちゃんがそばに来るなんて、とっても心がウキウキすること。なにかしてあげたくなっちゃいます。私たち助産師もそんなお節介おばちゃんの種類です。そんな人があなたのおそばにもきつくといいですね。お返しは後輩ママにすることにして、まずはリアルママ友をゲットしましょう。そして子どもファンのご近所さんにも、赤ちゃんパワーのおすそわけをしてあげてください。

ママサークルの一部を紹介
《おさがり会とママサロン》

助産院のママサークルのひとつ、「ポレポレ富谷」のママたちが企画。11月後半の日曜日を予定。詳細は、とも子助産院のホームページに、10月後半に掲載予定。

そのほか、妊婦サロン・産前産後ヨガ・ベビーマッサージなど、たのしい集まりを沢山開催しています。



ポレポレ富谷活動中!



産後2日目のママ&ベビーと伊藤さん



生まれたての妹を抱っこ 命の誕生に感動!

とも子助産院

入院分娩の他、母乳育児相談、産後ケア・産後養生入院、保健指導、電動搾乳機レンタル(メテラ社)などを行っています。

住: 仙台市泉区野村字野村95-6
問: 022-772-5960
外来受付(完全予約制):
月~木8:30~16:00、土・日8:30~12:00
休: 金曜・祝日
http://www.tomo-j.jp